※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解歴史総合」（帝国書院）						
副教材等	「明解歴史総合ノート」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、人間の歩みについて、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みと関連付けながら学習します。ここ数百年の歴史を考えてみると、日本の歴史は海外の動向を無視して理解することはほとんど不可能です。そして、世界とのつながりはますます深くなっています。過去の歴史、とりわけ人類の歴史の最も新しい部分を学ぶことは、将来のより良い日本あるいは世界をつくっていくことにつながるはずです。皆さんが歴史総合を学ぶことで平和で民主的な国家、世界を形成する一員としての自覚を持ち、その資質・能力を身につけることを期待します。

2　学習の到達目標

①近現代の歴史の変化に関わる知識や概念を理解するとともに、諸資料を読み取る、歴史事象を多面的・多角的に考察する技能を身につける。
②歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする。
③グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育てる。歴史的な課題を解決する構想をする力を養い、世界市民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史が理解できる。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察できる。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力が身についている。 考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論ができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決する態度が身についている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さが自覚できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	オリエンテーション 歴史の特質と資料:グラフ・写真などの資料からテーマの内容を理解し、考える。	a: 資料に基づいて歴史が叙述されていることが理解できる。 b: 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 c:教科書や資料集などの歴史資料に興味を持つ	確認テスト 定期考査	定期考査	振り返りシート
	近代化と私たち	近代化が私たちの生活に与えた影響や生活の様子の変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	20世紀に生じた2つの世界大戦が国際社会に与えた影響や大衆の変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
3学期	グローバル化と私たち	経済と社会のグローバル化の影響と人々の暮らしの変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度